

日本から台湾の国連加盟支持の声を!!

台湾は今年から国連に「台湾」名義での加盟申請を行いました。しかし、潘基文国連事務総長は「台湾は中国の一部」だとの解釈を示して申請を拒否しました。ところが、事務総長にそのような権限はないどころか、そもそも国連が「台湾を中国の一部」などと認定した事実もありません。

その後、台湾の友好国の提案や、日本とアメリカが事務総長の「解釈不適切」申し入れを行ったことにより、台湾の国連加盟については9月18日から開かれる国連総会の総務委員会で審議されることになりました。

こうしたなかで台湾では、国連総会開催直前の9月15日、台湾の国連加盟の正当性を訴え、住民投票を推進する大規模デモが行われ、ニューヨークでもそれに呼応してアピール行進が行われます。

そこで、私たち日本人も呼応し、「一つの中国」なる宣伝を打破するため、この問題への関心を喚起するとともに、国際社会で孤軍奮闘する台湾に激励のメッセージを送るため、アピール行進を実施しています。

台湾を中国の侵略から守るためには、何としてでも台湾を国連に加盟させ、台湾問題を国際社会の関心の下に置かなければなりません。このアピール行進は、友邦台湾のため、そして日本を含む東アジア全体の平和のための行動です。

どうして日本は台湾の国連加盟を支持すべきなのでしょう？

[台湾国連加盟に関するFAQ(2007年9月7日、台湾駐日代表処発表)より]

- 1、台日両国とも平和支持、民主追求、人権尊重の国であり、両国間には長年にわたって共通価値観に基づいた緊密なパートナーシップがあります。自由民主台湾の繁栄と成長は、日本および東北アジア地域全体の利益に絶対的に合致しています。
- 2、国連は諸国に尊敬される国際組織であり、台湾海峡兩岸の対等・平和的な対話の場にもなります。もし台湾が国連に加盟できれば、台湾海峡の緊張関係を有効的に緩和させることができます。
- 3、現在の台湾は、国際社会において、まるで身体の小さな優等生が腕力の強い学生から長い間「いじめ」を受けているような立場にあります。最近、日本では学校の「いじめ」現象が注目され、防止策が求められています。アジア地域の主要国家および台湾の近隣国家としての日本は、「いじめ防止」と同様、その道義を重んじる観点から、台湾のことを支持するよう、強く期待されています。
- 4、日本の国益から見ると、台湾が中国に併合される「現状変更」と、台湾が独立国家として機能している「現状を維持すること」と、どちらがいいのでしょうか。地理的に至近距離にある日本もこの問題を真剣に考えるべきです。その答えが後者であるならば、必然的に台湾の国連加盟を支持するという結論に行き着くことでしょう。